

## 日本堆積学会 2019 年大阪大会 プログラム

<日 程> 2019 年 4 月 19 日 (金) ~ 23 日 (火)

19 日 (金) : プレ巡検「大阪平野海岸部の遺跡と地層」, 自然史博物館バックヤード見学

20 日 (土) : 個人講演, 市民向け講演会, 総会議事, 懇親会

21 日 (日) : 個人講演, 最優秀口頭・ポスター発表賞授賞式, 堆積学トーク・トーク

22 日 (月) ~ 23 日 (火) : ポスト巡検「田辺層群・牟婁層群の堆積相と泥ダイアピル・泥火山」

<会 場> 大阪市立自然史博物館 (長居公園内)

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/1attention/parkmap.html>

\* 自然史博物館への博物館南側の職員通用口 (上記地図上で, 博物館の建物南の黒矢印の場所) からご入館下さい。

### 4 月 19 日 (金) プレ巡検

「大阪平野海岸部の遺跡と地層」

案内者 : 趙 哲済 氏・小倉徹也 氏 (大阪文化財研究所)

### 4 月 19 日 (金) 自然史博物館バックヤード見学

案内者 : 中条武司 氏 (大阪市立自然史博物館) ほか

### 4 月 20 日 (土) 市民向け講演会

地質の日協賛行事・第 36 回地球科学講演会「OSL 年代—砂粒に刻まれた時の記憶」

時間 : 15 時 00 分 ~ 16 時 30 分

場所 : 大阪市立自然史博物館 講堂

講師 : 田村 亨 氏 (産業技術総合研究所)

### 4 月 22 日 (月) ~ 23 日 (火) (1 泊 2 日) ポスト巡検

「田辺層群・牟婁層群の堆積相と泥ダイアピル・泥火山」

集合・出発 : 大阪市立自然史博物館周辺 22 日 8 時 30 分

解散 : 新大阪駅または天王寺駅周辺 23 日 17 時頃

案内者 : 宮田雄一郎 氏 (山口大学)・松本 弾 氏 (産総研)・潮崎翔一 氏 (千葉環境研究センター)

## 4月20日(土)

**会場：**大阪市立自然史博物館 講堂（口頭発表）、ホール周辺（ポスター会場）

建物への入館は 8:00 から可能です。受付開始は 8:15 です。

9:00-9:05 会長挨拶 高野 修

### <口頭発表の部>

【座長：宇津川喬子】

- O1 9:05-9:25 イベント堆積物と生物攪拌：津波堆積物の例  
清家弘治（産総研）
- O2 9:25-9:45 北海道東部床潭沼における 19 世紀以降の津波痕跡の検出  
篠崎鉄哉（筑波大）・澤井祐紀・伊藤一充・原 淳子・  
松本 弾・谷川晃一郎（産総研）・  
Jessica Pilarczyk（Simon Fraser Univ）
- O3 9:45-10:05 宮崎県延岡市島浦島における津波堆積物  
山田昌樹（東京大）・後藤和久（東北大）・篠崎鉄哉（筑波大）・  
千葉 崇（秋田県立大）・藤野滋弘（筑波大）
- O4 10:05-10:25 三重県志摩市で見つかった歴史時代・先史時代の津波堆積物  
藤野滋弘（筑波大）・木村治夫（電中研）・小松原純子・松本 弾・  
行谷佑一・澤井祐紀・宍倉正展（産総研）
- O5 10:25-10:45 表層堆積物再懸濁：地震性タービダイトの一つの形成プロセス  
池原 研（産総研）・金松敏也（JAMSTEC）・宇佐見和子（東京大）

休憩（10:45-10:55）

【座長：山田昌樹】

- O6 10:55-11:15 白保竿根田原洞穴遺跡に分布する人骨・遺物の 3 次元分布とその堆積過程  
伊藤百花・石原与四郎（福岡大）・土肥直美（元琉球大）・  
片桐千亜紀（沖縄県立埋蔵文化財センター）
- O7 11:15-11:35 沖縄県久高島の沿岸巨礫分布に基づく台風・波浪の最大強度推定  
南館健太・後藤和久・渡部真史（東北大）・  
Volker Roeber（ハワイ大学, ポー・エ・デ・ペイ・ド・ラトゥール大学）・  
渡久地健（琉球大）・三納正美（ミクニヤ株式会社）・  
中島洋典（有明高専）・菅 浩伸（九州大）
- O8 11:35-11:55 河口堆積物形成における洪水流の役割：東京湾多摩川河口干潟  
村山正樹・西田尚央・大本拓輝・  
真山茂樹・藤本光一郎（東京学芸大）

O9 11:55-12:15 長野盆地南部の考古学遺跡から発見される西暦 888 年の洪水堆積物  
保柳康一・内山しおり (信州大)

【座長：佐々木 華】

<ポスター発表ショートトーク： 奇数番号の講演> 12:15-12:45

1 件あたりの講演は 3 分以内とします。

昼休み (12:45-13:50)

<ポスター発表の部> 13:50-14:50

4 月 20 日 (土) 8:00 より掲示できます。4 月 21 日 (日) 16:00 までに撤収をお願いします。

- P1 三重県津市周辺の海岸低地の堆積相とイベント堆積物  
松本 弾 (産総研)
- P3 和歌山県田辺湾における表層堆積物中の有孔虫殻の粒度分布  
廣木義久 (大阪教育大)
- P5 紀伊半島南部海岸地域「サラシ首層」に含まれる砂岩の碎屑性ジルコン U-Pb 年代  
別所孝範 (大阪市立大)・鈴木博之 (元同志社大)・  
山本俊哉 (和歌山県立田辺高校)・  
檀原 徹・岩野英樹 (京都フィッシュントラック (株))・  
平田岳史 (東京大)
- P7 砂岩物性からみた西南日本各地の堆積体  
宮田雄一郎・坂口有人・原田隆弘 (山口大)
- P9 伊勢・三河湾の中央部に埋没する氷期の残丘  
佐藤智之 (産総研)・古山精史朗 (東京海洋大)
- P11 大阪海岸低地の津守新田に干拓された古代に遡る干潟  
趙 哲濟 (大文研)・渡部哲也・  
高田良二・山西良平 (西宮市貝類館)
- P13 福島県南相馬市小高区井田川におけるボーリング調査  
田中姿郎・吉井 匠・佐々木俊法・  
濱田崇臣・伊藤由紀・松山昌史 (電中研)
- P15 一方向流下におけるポットホール内の礫のふるまい  
問田雄真・北沢俊幸 (立正大)
- P17 Experimental Investigation of Entrainment Rates of Mixed Grain-size Particles to Suspended Load: Difference between Open Channel Flows and Turbidity Currents  
姚 奇峰・成瀬 元 (京都大)
- P19 泥 vs 波 (予報)  
山口直文 (茨城大)・関口智寛 (筑波大)

<市民向け講演会>

【座長：中条武司】

15:00-16:30 OSL年代-砂粒に刻まれた時の記憶

田村 亨 (産総研)

休憩 (16:30-16:50)

<総会> 16:50-17:50

<懇親会> 18:00-20:00 大阪市立自然史博物館 ナウマンホール

4月21日(日)

<口頭発表の部>

【座長：藤野滋弘】

O10 9:00-9:20 小・中学校のための堆積学的教材データベースとネットワークの構築

宇津川喬子 (立正大)

O11 9:20-9:40 鳥取層群からの断層で隔てられた堆積盆境界の発見とその意義

丸山祐太 (島根大)

O12 9:40-10:00 淡路島南西海岸部に分布する上部白亜系和泉層群の堆積環境

奥田朱音・成瀬 元 (京都大)

O13 10:00-10:20 Autogenic non-equilibrium responses of river deltas: Extension of the grade index model to base level rise

Junhui Wang (China Univ of Petroleum, Beijing / Nagasaki Univ),

Hajime Naruse (Kyoto Univ), Tetsuji Muto (Nagasaki Univ)

休憩 (10:20-10:30)

【座長：浦本豪一郎】

O14 10:30-10:50 湖水環境によって影響を受けた湖成重力流のタイプと挟在頻度：栃木県塩原層群宮島層の例

佐々木 華 (福岡大)・大西由梨 (応用地質)・石原与四郎 (福岡大)

O15 10:50-11:10 密度流ベッドフォームの形成条件

大畑耕治・成瀬 元 (京都大)・

Isabel de Cala・Bill McCaffrey (Univ Leeds)・

Robert Dorrell・Stuart McLelland (Univ Hull)

O16 11:10-11:30 Inverse Analysis of Experimental Scale Turbidity Currents by Deep Learning Neural Network

蔡 之榕・成瀬 元・姚 奇峰 (京都大)

【座長：篠崎鉄哉】

<ポスター発表ショートトーク： 偶数番号の講演> 11:30–12:00

1件あたりの講演は3分以内とします。

昼休み (11:57–13:00)

<ポスター発表の部> 13:00–14:00

4月20日(土) 8:00より掲示できます。4月21日(日) 16:00までに撤収をお願いします。

- P2 子ども向けワークショップ「砂・つぶ・すな絵」を通して学ぶ砂の組成とその成り立ち  
山中亜希子・山下和子 (NPO 法人大阪自然史センター)・  
中条武司 (大阪市立自然史博物館)
- P4 福島県南相馬市小高区井田川低地で掘削した2本のボーリングコアの堆積相, 化学分析,  
珪藻化石分析に基づく完新世の堆積環境変遷の復元とイベント堆積物  
内山しおり・町田順一・保柳康一 (信州大)
- P6 石巻市大谷川浜の人工構造物に残された特徴的な津波堆積物  
吉井 匠・田中姿郎・濱田崇臣・伊藤由紀・松山昌史 (電中研)
- P8 富山市に分布する更新統三田層の堆積環境と化石密集層  
佐々木 稔 (筑波大)
- P10 Fluvio-tidal controls on the lateral reservoirs: Implications from the Onshore Depobelts of the  
Niger Delta, Nigeria, West African Margin  
Onema Adojoh (Univ of Missouri Science and Technology / Nagasaki Univ),  
Jude Omuije (Shell Petroleum Development Company of Nigeria Ltd),  
Tetsuji Muto (Nagasaki Univ)
- P12 埼玉県秩父地域に分布する中新統小鹿野町層の堆積環境  
石井さよ・西田尚央 (東京学芸大)
- P14 露頭面積の違いが生物攪拌強度に与える影響  
菊地一輝・成瀬 元 (京都大)
- P16 地層を音楽に変換する Web アプリ「Sedimentary Rock!」の開発  
北沢俊幸 (立正大)・安友裕秋・加藤琢磨 ((株) シフトブレイン)・  
野田琢真・青木和昭 (立正大)
- P18 Initial flooding surface からみた九十九里平野の長期的隆起  
小松原純子 (産総研)
- P20 潮の名残り：混濁流は潮汐の影響を受けうるか？  
成瀬 元 (京都大)・Robert Dorrell (ハル大)

<口頭発表の部>

【座長：池原 研】

- O17 14:00–14:20 タービダイトに記録された前弧海盆の沈降変遷: 鮮新–更新統掛川層群  
曾根明樹 (島根大)

- O18 14:20–14:40 Sedimentary characterization and source rock potential of siliceous formations in Neogene Tsugaru basin, Aomori Prefecture, Japan  
Martizzi Paolo・Chiyonobu Shun・Arato Hiroyuki (秋田大)
- O19 14:40–15:00 沖縄島南西沖プラットフォームに認められる樹枝状古水系の三次元サイスマック地形学的特徴とその意義  
小松侑平 (JOE)・藤本 暁 (JOGMEC)
- O20 15:00–15:20 3D 震探データを用いた海底扇状地舌状体の構造・階層性の考察  
高野 修 (石油資源開発)
- O21 15:20–15:40 粗粒セディメントウェーブ堆積物の形態と内部構造  
伊藤 慎・島野恭史 (千葉大)

休憩 (15:40–15:50)

【座長：保柳康一】

- O22 15:50–16:10 熊本県天草上島上部白亜系姫浦層群の油徴を伴う泥質岩の有機地球化学的検討  
松田博貴・清野隆太 (熊本大学)・  
黒川将貴・西田英毅・八木正彦 (石油資源開発)
- O23 16:10–16:30 房総半島に湧出する上ガスの地球化学的研究  
若林泰葉・戸丸 仁 (千葉大)
- O24 16:30–16:50 酸化的な遠洋性粘土中に存在する大量の微小マンガング粒について  
浦本豪一郎 (高知大・JAMSTEC)・諸野祐樹・富岡尚敬・  
若木重行・中田亮一 (JAMSTEC)・和穎朗太 (農研機構)・  
上杉健太郎・竹内晃久・星野真人 (JASRI/SPring-8)・  
鈴木芳生 (JASRI/SPring-8・東京大)・光延 聖 (愛媛大)・  
白石史人 (広島大)・菅 大暉 (東京大)・武市泰男 (高エネ研)・  
高橋嘉夫 (東京大)・稲垣史生 (JAMSTEC)
- O25 16:50–17:10 海水準変動の要因としての陸域水循環とモンスーン  
池田昌之 (静岡大)
- O26 17:10–17:30 河岸段丘の形成について—気候変動コントロール説の具体例—  
八木下晃司 (早稲田大)・小松原純子 (産総研)

<事務連絡> 17:30–17:40

<最優秀口頭発表賞・最優秀ポスター賞授賞式> 17:40–17:50

<堆積学トーク・トーク> 18:00–20:00 「遺跡で堆積学！ 考古学と堆積学をつなげる」

会場：大阪市立自然史博物館 集会室

下記4件ほかの話題提供を予定しています。

趣旨説明：堆積学研究者は遺跡調査で何を求められているのだろうか？

中条武司 (大阪市立自然史博物館)

遺跡調査における考古学と堆積学との協業－考古学の立場から

大庭重信（大阪文化財研究所）

梶山・市原（1972）への呪縛と、考古学／地球科学の時空間スケールギャップ－大阪の場合

別所秀高（東大阪市鴻池新田会所）

遺跡現場で堆積学者から教わったこと、お願いしたいこと（仮）

趙 哲済（大阪文化財研究所）

## **注意事項**

### **<口頭発表>**

- ・口頭発表は発表 16 分、質疑応答 4 分です。発表時間を厳守して下さい。
- ・口頭発表は液晶プロジェクターの使用を標準とします。スライドのサイズ設定は 4:3 としてください。講演用に準備されるのは Windows PC (Windows 7, Power Point 2013), Macintosh (Power Point 2019) です。
- ・口頭発表される方はファイルの入った CD もしくは USB メモリを持参下さい。メディアおよびファイルは、ウイルス対策ソフトの最新定義で事前にチェック頂きますようお願いいたします。ファイルは遅くとも講演前の休憩時間までに会場の PC に直接コピーして下さい。心配な方はご自分のパソコンを持参下さい。
- ・会場のプロジェクターにパソコン接続ケーブル (miniD-SUB15) を用意します。

### **<ポスター発表>**

- ・ポスターは 20 日と 21 日の 2 日間にわたり掲示できます。ポスター 1 件あたりの展示可能スペースは、縦 180 cm×横 90 cm の縦長です。画鋲は会場にも用意があります（テープは使用不可）。ポスターには、必ずポスター番号を記入して下さい。はぎ取り標本など重量物の展示を希望される方、テーブルや電源を使用される方は、事前に行事委員会までお知らせください。
- ・ポスター発表のショートトークは 1 人 3 分以内でお願いします。液晶プロジェクターを使用して発表する場合、使用するスライドはタイトルスライド以外に 2 枚でお願いします。スライドのサイズ設定は 4:3 としてください。なお講演を円滑に進めるために、用意して頂いたスライドはあらかじめこちらで 1 つのファイルにとりまとめます。

### **<写真・ビデオ撮影の制限>**

本大会における全ての講演の様子や内容について（口頭発表・ポスター発表など）、発表者に無断で写真撮影・ビデオ撮影することを禁止します。撮影には発表者の許可が必要です。また、それらを発表者の許可なく SNS 等で配信することを禁止します。

### **<その他>**

会場の大阪市立自然史博物館および敷地内の長居植物園内は、全面禁煙です。

<会場周辺マップ>

入館に関する注意事項：大会中，自然史博物館への博物館南側の職員通用口（地図上で，博物館南にある黒矢印の場所）からご入館下さい。受付前に通常の入館口からは入ることはできません。

